

第74回企画展

岩手の風土・食事情

～むかしの食生活～



平成29年10月7日（土）～平成29年12月26日（火）

岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館

岩手県は、広大な県土のなかで、地域によって地形や気象等の条件が大きく異なり、そこに住む人々は、その土地に適した米、麦、雑穀などの様々な穀物こくもつを生産し、食料にしてきました。

昭和中期までの農家の食生活は、これらの穀物こくもつと、地域で手に入る食材を組み合わせ、栄養の調和を図るとともに、伝承でんしょうされてきた加工法ちよぞうや貯蔵法などにより自給主体の食生活を組み立ててきました。

冷涼な県北部では、稗ひえ、豆類、小麦を平常食とし、村や家の行事の際には晴れ食としてそば料理が供され、比較的温暖な県中南部では米、麦を平常食とし、晴れ食としてもち料理が供されるなど、地域の特徴を生かした食文化が形成されていました。

企画展では、穀類こくるいの脱穀だっこく、精白せいぱく、製粉せいふんなど調製道具と、地域ごとの特徴的な食べ物や食べ方を紹介します。



岩手県立農業ふれあい公園

農業科学博物館

北上市飯豊3-110 TEL:0197-68-3975

開館時間／9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日／月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)

入館料／一般300円 学生140円 高校生以下は無料

団体割引等(20名以上)あります

駐車場／大型バス12台 普通車240台 身障者専用5台